

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成30年4月19日(2018.4.19)

【公開番号】特開2016-166786(P2016-166786A)

【公開日】平成28年9月15日(2016.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2016-055

【出願番号】特願2015-46364(P2015-46364)

【国際特許分類】

G 04 C 9/00 (2006.01)

G 04 G 99/00 (2010.01)

G 04 C 3/00 (2006.01)

【F I】

G 04 C 9/00 Z

G 04 G 1/00 3 1 3

G 04 C 3/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月8日(2018.3.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1時刻を表示する第1指針と、

第2時刻を表示し、前記第1指針とは位置が異なる第2指針と、

前記第1指針および前記第2指針とは位置が異なる指示針と、

操作部と、

前記操作部の操作に基づいて、前記第1時刻を修正する第1時刻修正モードまたは前記第2時刻を修正する第2時刻修正モードを設定するモード設定部と、

前記第1時刻修正モードが設定された場合、前記指示針に前記第2指針とは異なる位置を指示させ、前記第2時刻修正モードが設定された場合、前記指示針に前記第2指針を指示させる表示制御部と、を備える

ことを特徴とする電子機器。

【請求項2】

請求項1に記載の電子機器において、

前記指示針は、前記第1時刻に対応するカレンダー情報を表示可能に設けられ、

前記表示制御部は、前記第1時刻修正モードが設定された場合、前記指示針に前記カレンダー情報を表示させる

ことを特徴とする電子機器。

【請求項3】

請求項1または請求項2に記載の電子機器において、

文字板を備え、

前記第1指針の回転軸は、前記文字板の平面中心に位置し、前記第2指針の回転軸は、前記文字板の平面中心から外周方向にずれて位置している

ことを特徴とする電子機器。

【請求項4】

請求項1から請求項3のいずれか一項に記載の電子機器において、

前記第1時刻修正モードが設定された状態で、前記操作部のタイムゾーン修正操作が行われると、前記第1時刻のタイムゾーンデータを修正し、前記第2時刻修正モードが設定された状態で、前記操作部のタイムゾーン修正操作が行われると、前記第2時刻のタイムゾーンデータを修正するタイムゾーン設定部と、

修正された前記第1時刻のタイムゾーンデータに基づいて前記第1時刻を修正し、修正された前記第2時刻のタイムゾーンデータに基づいて前記第2時刻を修正する時刻修正部と、を備える

ことを特徴とする電子機器。

【請求項5】

請求項4に記載の電子機器において、

第3指針を備え、

前記表示制御部は、前記第1時刻修正モードが設定された場合、前記第1時刻のタイムゾーンデータを前記第3指針に指示させ、前記第2時刻修正モードが設定された場合、前記第2時刻のタイムゾーンデータを前記第3指針に指示させる

ことを特徴とする電子機器。

【請求項6】

請求項1から請求項5のいずれか一項に記載の電子機器において、

前記第1指針は、第1時針と第1分針を備え、

前記第2指針は、第2時針と第2分針を備え、

前記表示制御部は、前記第1時刻修正モードまたは前記第2時刻修正モードが設定された場合、前記第1時針、前記第1分針、前記第2時針、前記第2分針を継続して運針させる

ことを特徴とする電子機器。

【請求項7】

請求項1から請求項6のいずれか一項に記載の電子機器において、

前記表示制御部は、前記指示針に前記第2指針を指示させた後、予め設定された指示時間が経過すると、前記指示針に前記第2指針とは異なる位置を指示させる

ことを特徴とする電子機器。

【請求項8】

請求項1から請求項7のいずれか一項に記載の電子機器において、

前記表示制御部は、前記指示針に前記第2指針を指示させた状態で、前記操作部の指示終了操作が行われると、前記指示針に前記第2指針とは異なる位置を指示させる

ことを特徴とする電子機器。

【請求項9】

請求項1から請求項8のいずれか一項に記載の電子機器において、

前記表示制御部が前記指示針に前記第2指針を指示させる際、前記指示針の回転軸から指示方向に伸びる直線が、前記第2指針の先端が描く円と交差する範囲の所定位置を指示させる

ことを特徴とする電子機器。

【請求項10】

第1時刻を表示する第1指針と、第2時刻を表示し、前記第1指針とは位置が異なる第2指針と、前記第1指針および前記第2指針とは位置が異なる指示針と、操作部と、を備える電子機器の時刻修正方法であって、

前記操作部の操作に基づいて、前記第1時刻を修正する第1時刻修正モードまたは前記第2時刻を修正する第2時刻修正モードを設定し、

前記第1時刻修正モードを設定した場合、前記指示針に前記第2指針とは異なる位置を指示させ、前記第2時刻修正モードを設定した場合、前記指示針に前記第2指針を指示させる

ことを特徴とする時刻修正方法。

【請求項11】

第1時刻を表示する第1指針と、第2時刻を表示し、前記第1指針とは位置が異なる第2指針と、前記第1指針および前記第2指針とは位置が異なる指示針と、操作部と、を備える電子機器に実行させる時刻修正プログラムであって、

前記操作部の操作に基づいて、前記第1時刻を修正する第1時刻修正モードまたは前記第2時刻を修正する第2時刻修正モードを設定し、

前記第1時刻修正モードを設定した場合、前記指示針に前記第2指針とは異なる位置を指示させ、前記第2時刻修正モードを設定した場合、前記指示針に前記第2指針を指示させる

ことを特徴とする時刻修正プログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図3】

